

着れなくなった服などを捨てないで、弟や妹とかにあげる。それかフリーマーケットなどで売る。

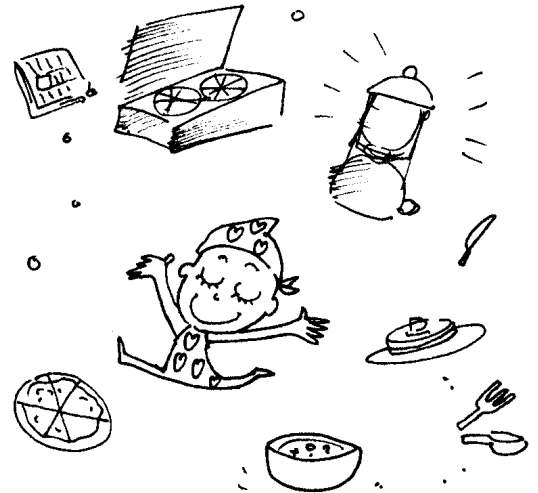
少々値段が高くて、再生紙の方を買ったりする。

## 第4回 .10月23日(木)18:00~20:00 『キャンプ実習に向けて』

第4回目のプログラムは、「キャンプ実習に向けて」。プログラム前半では、川口さんによる「アウトドア&キャンプにおける心得」の講義と次回のキャンプ実習のスケジュールや服装・携行品などの説明、アウトドアグッズの使用法説明が行われた。後半では、アウトドアで簡単に作れる料理の調理実習を行った。集団的なアウトドア体験はあるが、個人的・自主的なアウトドア体験に乏しい受講生への、オリエンテーション的プログラムである。

前半の講義では、野外でよく使われるガソリンストーブ(ツーパーナー)やランタンの構造や取り扱い方法などの説明を受け、実際に受講者が点火・消化操作を行った。

後半の調理実習では、調理が簡単=洗い物が少ない=水を汚さない=環境にやさしい、という観点から、ホットケーキ、木こりうどん、ピザ、フルーツサラダを取り上げた。調理の過程で、ツーパーナーの取り扱い方法を身に付けた。最近の高校生は、学校カリキュラムにおいて家庭科が男女とも必修科目となっているせい、受講者は男女関係なく、積極的に調理実習に参加していた。



## 第5回 .11月2日(日)10:00~ 『キャンプ実習1』

## 第6回 .11月3日(月) ~15:00 『キャンプ実習2』

第5回目と第6回目のプログラムは、受講生も楽しみにしていたキャンプ実習である。実施場所は、西中国山地に源を發し、岩国市で瀬戸内海に注ぐ清流・錦川の河原と周辺の流域である。当日は両日も快晴の天候で、けが人や病人もなく予定通りプログラムを消化することができた。



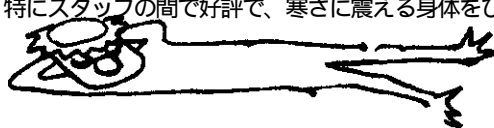
キャンプ実習の目的は、知識を中心とする講義や話し合い・討議の学習だけでなく、実際の自然に触れてみる・遊んでみることにより、感性・情緒面からも環境問題への認識を深めてもらうことにある。豊かな自然の中で、「見る」「聴く」「におう」「味わう」「触れる」など、五官を駆使して自然のすばらしさを感じてもらおうとともに、それらをずっと心の中にとどめておいてもらいたい。



キャンプ実習の最大の目玉は、何といてもカヌー体験である。実際、キャンプ実習前から受講生の間で話題にのぼっていたし、実施後の評判も上々であった。生まれて初めてカヌーに乗って、水面からゆっくりと外界を眺めてみる不思議な体験、川底まで透き通って見えるほどの水の美しさ、沈没して泳いだときの水の冷たさと太陽の暖かさなど、受講生にとって日常生活では得られにくい貴重な体験であったと思う。

その他、「岩国城登山」プログラムや、初日の夕食後に行われた「星を見る会」プログラムなども行われた。苦しかった「岩国城登山」はともかく、「星を見る会」はスタッフの熱演もあり、受講生の間でなかなか評判がよかった。

初日の夕食は、自作のかまどを設置し、流木を薪割り・乾燥させた薪を燃料としてごはんを炊いた。夕方から風が強くなり、薪の乾燥が不十分だったこともあって火のコントロールには大変苦労した。それでも何とかホカホカのコシヒカリを食べることができた。また、受講生の作ってくれたキムチ鍋は、特にスタッフの間で好評で、寒さに震える身体をひととき温めてくれた。



前述の「星を見る会」終了後、希望者を募って近くにある銭湯を訪れた。すぐそばにある錦帯橋の廃材(水害・流失時)を利用した建物で、昔ながらの落ち着いた懐かしい雰囲気のある銭湯であった。夕方から風が強まり寒風吹きすさぶ錦川河畔にいて、とにかく寒かった体も、この時ばかりは温まった。銭湯から戻ると、受講生とスタッフがたき火を囲んで、代表の竹本さんによるリサイタル(ギターの弾き語り)を聴き、一緒に歌った。

# (資料) 97年度高校生のための環境講座 環境プロジェクト97」キャンプ実施計画書

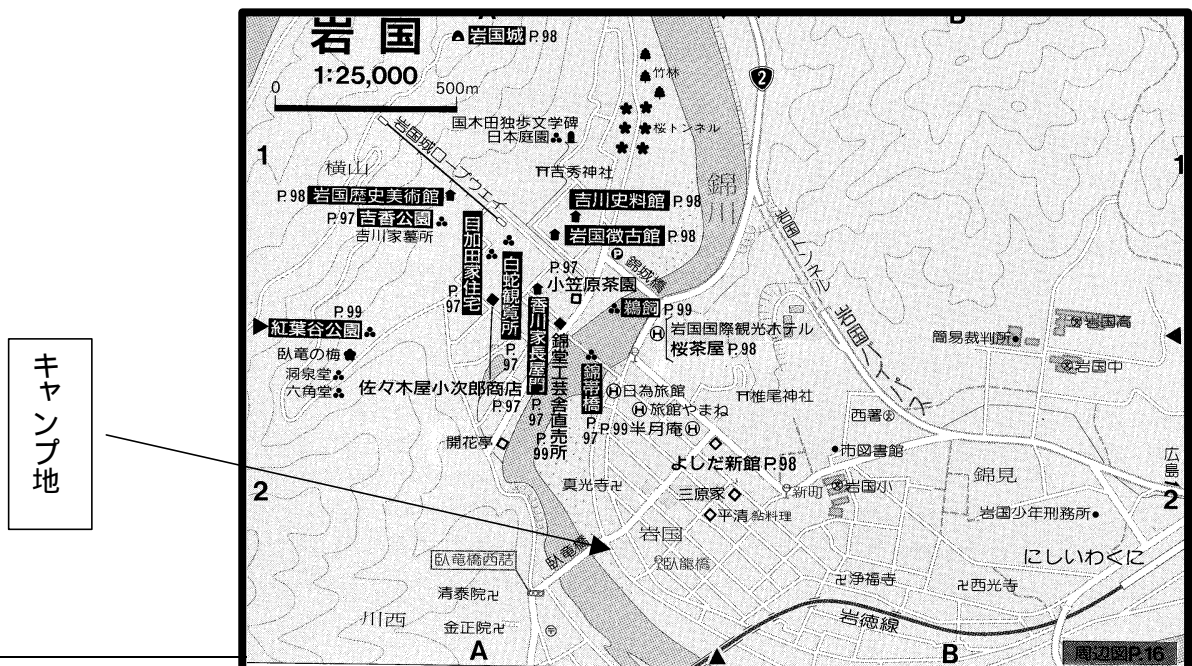
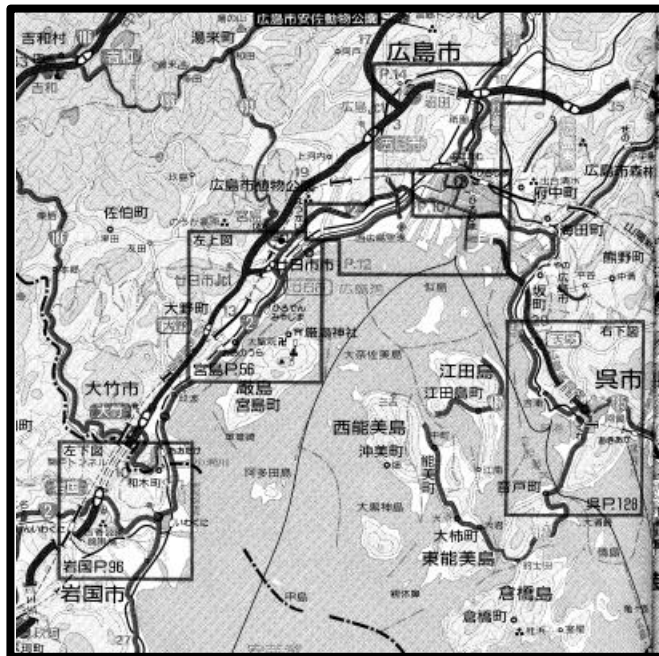
- 1.日時 1997年11月2日(日)10:00~11月3日(月)15:00
- 2.テーマ 「キャンプ実習」
- 3.目的 自然に触れるなかで、各テーマについての学習を行う
- 4.実施場所 岩国、錦帯橋下流臥竜橋付近および錦川流域
- 5.集合場所、方法 地図参照 キャンプ予定地 臥竜橋下

## 現地へのアクセス方法について

、横川駅裏口集合、9:00集合、車に便乗していく

横川駅を經由する車、川口(4名乗車可)、竹本(3名乗車可)、戸野(3名乗車可)

、JR山陽本線にて岩国駅着、岩徳線乗り換え、二つ目の川西駅下車、徒歩10分(広島からの所要時間約60分)、あるいは車で迎えるに行く。おすすめは広島駅8:32発、岩国9:19着 岩徳線乗り換え9:22岩国発 川西駅9:31着 徒歩15分



## キャンプ実習装備一覧表

基本的なものを選んでみました。これ以外については自分たちで考えてみてください

状況としては、最低気温が10 くらいになり、雨が降る可能性もある...ということは、最悪の場合、寒い中、雨ザーザーということも考えられるので、それに対応できるように。(できるだけ家にあるもので代用をしてください)

準 備 物	絶対必要	必要に応じて	チェック欄
着替え類 (1泊 2日分を各自の判断で、お風呂にも入れます)			
カヌー用の着替え (必ず濡れるのでそのために、ジャージでよい)			
靴 (ふつうのズックでもいいが、頑丈なほうがベター)			
靴 (カヌー用)濡れてもいいもの、サンダルとかでOK			
防寒衣類 (たぶん 10 位にはなる)を各自の判断で			
ウインドブレーカーもしくはジャンパー (いい物はいらない、たき火で穴があくぞ!)			
タオル (適当な枚数、汚れてもいいもの)			
新聞紙 (一日分くらい)			
トイレトペーパー (ビニール袋に入れておくこと)			
シュラフ (もしくは毛布) & マット (下に敷くもの)			
水筒 (1リットルもあれば十分)、ペットボトルで代用可能			
食器類(コップ、皿、腕、杯、スプーン、フォーク etc)、家の食器でOK			
雨具 (当然カバが望ましい)...なんでもいいです、無い人は傘でも可能ですが...			
帽子			
米 (2合)			
弁当 (一日目の昼食)			
筆記用具			
ヘッドランプ、もしくは懐中電灯 (トイレに行くのに必要だぞ)			
ナイフ(小型の包丁でも可能)...家にある物でOK			
ライター (家の人に借りよう)			
ゴミ袋大小 (数枚) 防水用			
簡単な救急品 (カットバンなど) 必要に応じて			
軍手			
お金 (交通費 + 食費 + 銭湯代 + ) 5,000円もあれば十分			
間食、嗜好品、飲み物			
常備薬			
ハンカチ (汚れてもいいもの)、ひも			
双眼鏡、カメラ等、その他野外観察に使えるようなもの			

## 今回のキャンプ実習全体の大まかな流れ

### 1日目

	内 容	日時
横川駅裏集合	車に同乗する人は9時に西広島駅裏集合	11/2 9:00
現地集合	10時頃、臥竜橋下に	11/2 10:00

テント設営その他	テントの設営、かまどの設置等を行う	11/2 10:00 ~ 11:00
2 昼食 & 休憩	各自持参した弁当で昼食、昼食後カヌー準備、移動	11/2 11:00 ~ 12:00
3 カヌー体験	電車、車で上流に上がり、ミカヅツア-を行う。ゴミ拾いツアーにしてもいいかも？	11/2 12:00 ~ 16:00
4 河川汚濁について	カヌー体験をふまえ、河川の汚濁の原因・対策について学ぶ	11/2 16:00 ~ 16:30
夕食準備 & 夕食	スペシャルメニュー？を作る	11/2 16:30 ~ 19:00
懇親会その他	親睦を深める	11/2 19:00 ~
就寝	遅くとも10時には寝ます	11/2 20:00 ~

## 2日目

起床、朝食準備、朝食	さっと起きて、さっと食べて、速やかに...	11/3 6:30 ~ 8:30
カヌー体験(2回目)	電車、車で上流に上がり、ミカヅツア-を行う。ゴミ拾いツアーにしてもいいかも？	11/3 9:30 ~ 11:30
昼食準備	時間によっては、外食になる可能性もあります	11/3 11:30 ~ 14:00
キャンプを体験して	2日間の反省	11/3 14:00 ~ 15:00
解散	3時頃の予定、帰りはできるだけ送ります	

### < 受講生の感想 >

勝手な行動ばかりとってみんなに迷惑かけてしまったけど...楽しかったです。

三宅さん、伊藤さん、戸野さんの話に感動した。

我が家の近くの錦川でカヌーができて本当に感激した。カヌーなんて、できるかどうか心配したけど、カヌーを漕いでいる時は気持ち良かった。竹本さん(京ちゃん)の焼きそばがおいしかった。

星がすごくきれいだった。で川もキレイでコイがいた。カヌーは楽しかった。やっぱり自然はいいですね。また行きたいなー。

途中からの参加だったけど、楽しかった。オリオン座がはっきり見えて、うれしかった。山に登ったのは、いいけど、降りる時少し恐かった。

川がとてもきれいで、すごく気持ちよかったです。でもこんなにきれいな川は、日本にあまり無いということを聞いてすごくショックでした。あと、星がきれいでした。星の話も良かったです。ご迷惑をおかけしてすみませんでした。楽しかったです。ありがとうございました。

星がキレイ。川がキレイ。サイコウでした。

カヌーを体験しておもしろかったので、またやりたい。

楽しかった。

カヌーは初めてだけと楽しかったと思います。

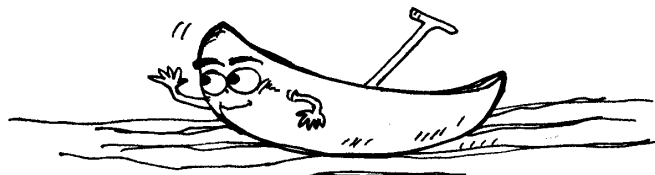
次にカヌーをするときは、もっと難しいコースがいい。

勝手な行動をして、みんなに迷惑をかけてしまった。ごめんなさい。

初めてカヌーをしたが、川に落ちることなく楽しく出来たので、とてもいい経験だったと思います。又、キャンプといういつもとは違う環境というものはすばらしく、星座がとてもきれいだった。

カヌーは飛び込むものではない。風邪をお召しになられた。火を付けるのは難しい。

カヌーが面白い。



初参加だったけど楽しかった。また参加したい。

勝手な行動をいろいろとしたからとても反省している。他の人にとっても迷惑かけて本当にごめんなさい。

カヌーのような貴重な体験ができて、とても楽しかった。正直言って、もう少し長い時間カヌーをやっていたかった。また、こんな体験をやってみたい。

## 第7回 .11月10日(月)18:00~20:00 二葉山フィールドワークに向けて」

講師 : 広島大学理学部 関 太郎 先生」

第7回目のプログラムは「二葉山フィールドワークに向けて」。広島大学理学部の関先生から講義を受けた。内容としては、次回(第8回目)の二葉山フィールドワークを前にして、二葉山とその森についての学術的なお話と、将来環境関連の進路に進むには?といった話題を中心に説明を受けた。講義の内容としては、関先生の、子どもの頃から現在の職に関わるまでの生育歴・体験談に続いて、熱帯雨林を引き合いに出して二葉山が実は多様な植生(=貴重な自然)に恵まれていることの説明など、多数のスライドをまじえて話していただいた。

講義が終わった後に設けられた質疑応答の場においても、受講生たちはそれぞれ積極的に講師に質問するなど、身近な森に関する関心の高さをうかがわせた。

ただ、惜しむらくは、第7回のプログラムの受講者の半数以上が、次回の二葉山フィールドワークに参加できなかったことであろうか。最近の高校生は、学校の勉強にクラブ活動、塾や習いごと通い、休日の遊び、と本当に忙しいようだ。

### < 受講生の感想 >

光合成が気温が高いとき、昼休みをすることが勉強になりました。

むずかしかった。けっこう家の近くのことについての話だったのでふーんということになりました。

ちょっと話が難しかったけど、なんとなく分かった気がした。

小島さんの話に感動した。学校の事とか、自然の事とか。

ふだん見られないような自然を見て感動しました。とくにドンくんの写真を見ておもしろかった。

ドンくに早く会いたい。

なんか理科の講義みたいだった。けっこう楽しいので為になる。今度も参加したい。

途中までしかいかなかったけど、基礎の言葉について、よく似ている言葉とか、そういう初歩的な部分の話が聞けたので勉強になりました。

関先生の話は、とても難しく、何だかよく分からなかったけど、なんとなくおもしろかったです。スライドとか、きれいなものがあって、よかったです。16日のフィールドワークで、ドン君に会いたいと思いました。

ドン君の木を見てみたいと思いました。どんどん自然が破壊されて木が切られている現状をくいとめなければいけないと思います。

小島さんの話を聞いて本当に二葉山に行きたいと思いました。関先生の話は、今も自然が無くなっている悲しい状況を知ってとてもびっくりしました。

二葉山について、関太郎先生がとても熱心に教えてくれて、すごく勉強になりました。針葉樹林のマークが分かってよかったです。

関先生は、よく知っているなあと思った。来週のフィールドワークに行きたいと思った。

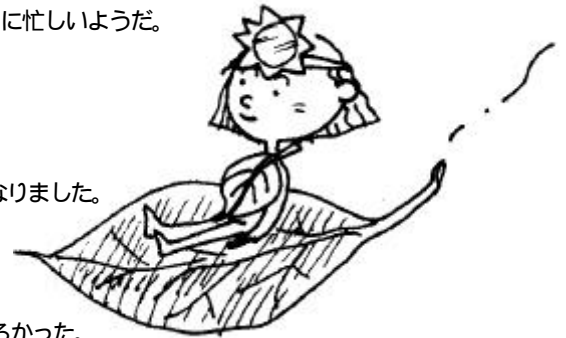
途中で眠ってしまったけど、お話はおもしろかったです。近くにある二葉山があんなきれいなところなんて知りませんでした。とてもきれいな写真がたくさんありました。いってみたいなあと思います。

針葉樹のマークが分かった。二葉山のドン君に会いたくなった。関先生の話が少し難しく、よく分からない所があった。

今日は、夜にも光合成するんだということが知れたことが身についたものの1つである。

夜、光合成をすることがどういうことか分かった。

グループ分けが残念だった。



**第8回 .11月16日(日)10:00~16:00 二葉山フィールドワーク」****講師 : 広島大学理学部 豊原 源太郎 先生」**

第8回目のプログラムは「二葉山フィールドワーク」。午前中は、広島大学理学部の豊原先生を講師に迎えて、実際に二葉山を歩きながら植生についての説明を受けた。午後からは、宇宙船地球号の会会員の小島さんに森を案内していただきながら、小島さんの二葉山に対する熱い思いを聞くことができた。

豊原先生からは、二葉山麓東照宮入り口から山頂までの間、シリブカガシの占有する森を中心に、地表植物から高木に至るまで様々な説明を受けた。折しも、シリブカガシの森には豊かにドングリが実っていて、それらが雨あられのように地上に落下しながら音を発する様は、スタッフも含めて初めての体験であり、言葉にしがたい感動を覚えた。

二葉山の散歩を毎日の日課としている小島さんからは、ご自身がお気に入りの散歩コースを案内していただいた。小島さんは最近、自費で写真集「二葉山原生林」を出版されただけあって、二葉山を愛する気持ちは人一倍強い。写真集を見せてもらいながら、その中の風景を一つ一つたどりつつ、森の中の散策を楽しむことができた。

当初の予定では、受講生それぞれが主体的に学習に取り組んでもらえば、とグループ別テーマ学習プログラムを考えていた。第8回以降は、受講生にグループ別に分かれてもらい、二葉山フィールドワークの過程で何かテーマを見つけ、それについて自主学習を行って、最終回である第10回に発表してもらうのである。しかし、前にも述べたようにフィールドワークの受講生が少なかったこと、実質残り1回の共同学習では時間不足のため時間外の活動が前提(必然)となるが、受講生自身が定期試験の直前ということもあり、時間的な面から、グループ別テーマ学習プログラムは残念ながら断念せざるを得なかったことを断っておく。

**< 受講生の感想 >**

二葉山には初めて来ました。最初はどんな山かと思っていたけど、駅の近くにこんなに身近に自然を感じることができる場所があるなんて驚きました。ひさびさに貴重な体験ができて、とても楽しかったです。

二葉山に来て思ったことは、小島さんの話で二葉山を通していろいろな人と出会ったこと、感動したこと、実際に歩いて回って小島さんの二葉山に対するとっても強い思いが伝わりました。また来たいです。(観光の時は缶コーヒーを忘れずに...)

二葉山には多くの植物が育っていることを知った。だから比治山にも自分の知らない植物がいっぱいあるのだろうと思う。

初めて二葉山に登って、色々な木や植物まで知ることができてよかった。これからもっと、色々な植物を調べたりして、知っていきたいと思った。

色々和二葉山についてわかった。全然何も無いと思ったのに、すごかった。

多くの自然に触れて、身近な山にもたくさんの種類の豊富な自然があることを身をもって感じた。

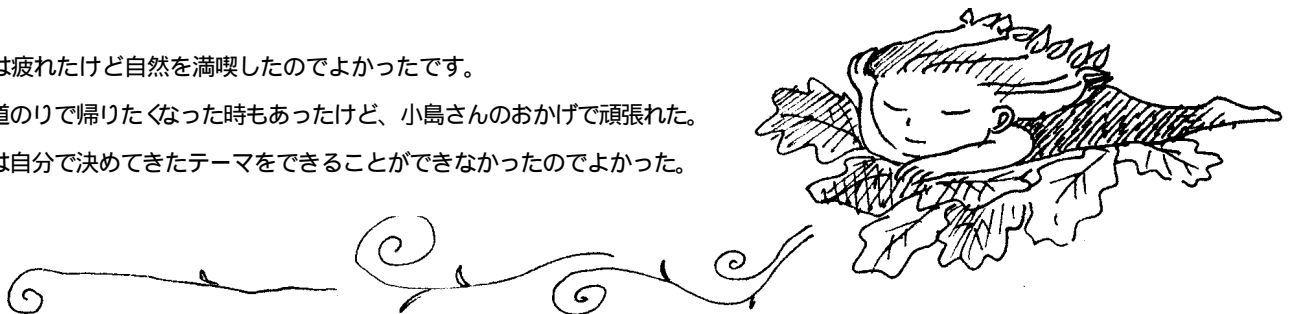
木をひとつとってみても、そこがどんな場所なのかとか、どんな歴史があったのかとか、いろいろ分かるという事が本当におもしろかった。ポーッと見ていてはいけない。読まなくてはっ！今が旬の毛利元就の跡が見れてよかった。

とっても疲れましたが、1日がとても充実していました。森の中って不思議と落ち着きました。ずっとこの森も、その他の緑も守りたいです。

今回は疲れたけど自然を満喫したのでよかったです。

長い道のりで帰りたくなった時もあったけど、小島さんのおかげで頑張れた。

今回は自分で決めてきたテーマをできることができなかったのがよかった。



**第9回 .11月27日(木)18:00~20:00 食べ物から見える環境問題」**

講師 :高校生協 中村 一夫 氏」

第9回目のテーマは「食べ物から見える環境問題」。我々にとってきわめて身近な食品の問題について、高校生協の中村さんを講師に迎え、今話題になっている遺伝子組み替え食品や農業・食品添加物の問題などの講義を受けた。

講師の中村さんから、初めて耳にするようなショッキングな事実を中心に説明を受けた。主な内容をあげてみると、以下の通りとなる。

1. 食品汚染のいろいろ...食品添加物、残留農薬、抗生物質、容器包装からの溶出物質、産業廃棄物・生活廃棄物(ダイオキシン、合成洗剤)
2. 食品添加物について...着色料、香料、防腐剤
3. 遺伝子組み替え食品について...輸入品に多い(国内の規制が及びにくい)
4. ダイオキシンについて...毒性と生成過程、生体への蓄積過程と影響



毎日、我々が摂取している食料品や水、空気が、自分たちの知らないところで相当量汚染されていることに受講者全員、大きなショックを受けた。特に猛毒の化学物質ダイオキシンに対しては、第1回目にも講義を受けたこともあって強い関心を寄せていた。講師の話が終わって質疑応答の場になると、堰を切ったように講師への質問がなされ、予定の時間を軽くオーバーしてしまうほどであった。

## &lt; 受講生の感想 &gt;

ダイオキシンについて初歩的なことを知ることができ、とても良かったです。あと自分たちがうるさかったと反省しました。

体の調子がすぐれなくて全部聞けなかったけど、だいたい聞けました。ダイオキシンをなくすということが不可能な事態 私達の身体はもうかわっているのだろう。

ダイオキシンのことは学校でも聞いていたけど、やっぱり怖いと思った。どんぐりはおいしかった。小島さんの話がすごく印象的でした。良かったです。あと、中村さんの話も良かったです。

また実験段階中くらいかと思っていた遺伝子操作がこんなに進んでいるとは思わなかった。

ダイオキシンの話にしても遺伝子組みかえの話にしても、実際自分の口に入ってくるもの話だったのですごく考えさせられた。母乳の話などは特に心に残った。私のできることはとりあえずもっと知ることだと思うので勉強しようと思う。

ダイオキシンは母乳に含まれていると言うが母乳は大丈夫なんでしょうか？遺伝子組み換え食品についてはモンサント社が少し利益ばかり優先しているようで心配でした。

うちの風呂をわかずえんとつにもダイオキシンがたまっていると思うとこわくて夜も眠れない。遺伝子組みかえの野菜とか食べてみたい。クローンとかは？

最終回から2回目になってしまいました。友達にも久しぶりに会えてうれしかったです。ダイオキシンは粉と言うことがわかった。気体だと思っていました。

今日はお菓子とかたくさん食べられたし、小島さんのお話や、中村さんのお話はとても興味深かったです。小島さんは本当に自然が大好きなんだなと思いました。中村さんのお話は今の日本の状態とかいろいろ聞くことができ、本当に良かったです。次回最終回だけでもできるだけ参加できるようにします！ありがとうございました。

中村一夫さんの話を聞いて今まであまり分らなかったことがすごくよく分かったので本当に良かった。ダイオキシンのこわさが分かった。

今日はすごくいい話を聞いた。ダイオキシンはすごく怖い物体で身体にとっても害のあるものだということがよくわかりました。これからずっとダイオキシンはなくなることはないけれど、ほっておいたら、もっとひどくなるので、今私達にできることをやっていきたい。

ダイオキシンが粉とは思わなかった。今日はちょっと私語が多かったので次は気を付ける。

話聞いて見て少し眠くなったけど、ちゃんと聞いていたところはためになったと思う。

ダイオキシンはとても怖いということがわかった。少しダイオキシンが人体に与える害について少し考えてみたいと思った。

ベトナム戦争で使われた量のダイオキシンに匹敵するような量が発生しつつあるということは初めて知った。リサイクルマークが7つ

あってその3がやばいということをした。

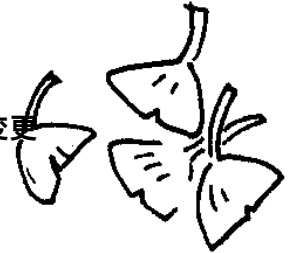
まじめに聞いていなかった。ダイオキシンの話は昨年も聞いたようなのが多かった  
ダイオキシン問題は今に始まったことではないのに経済発展などで対策が遅れた政府の行いは少し疑問に思う。リサイクル(1)マークはリサイクルをあらわしていると思うが、リサイクルが完全にできていないのは考慮する点がある。

今日やったダイオキシンの話は新聞などで見てしっていたので対して興味をそそられなかった。でも、今話題のことだから独自でなんかやろうとは思った。

## 第10回 12月20日(土) 18:00~20:00 『エコロジーな高校生になろう』

高校生講座の最終回である第10回目のテーマは『エコロジーな高校生になろう』。開講当初は予定されていなかったプログラムではあったが、スタッフ側で第9回までにやりたくてできなかった小さなプログラムを集めて今回の学習内容とした。学習内容は以下の通りである。

1. エコ川柳大会...環境問題に関する話題を川柳に、上位入賞者には豪華賞品
2. エコピンゴ大会...よく知られているピンゴゲームのキーワードを、環境語録に変更
3. エコクイズ...わかりそうでわからない環境問題をクイズに
4. エコトークリレー...高校生講座に関わってきたスタッフの言いたいこと



エコ川柳大会には、スタッフも加わって力作(力首?)が寄せられた。以下に全作品を紹介する。この中から参加者全員による投票によって入賞作が数首選出され、それぞれ豪華賞品を受け取った

### <エコ川柳高校生の部>

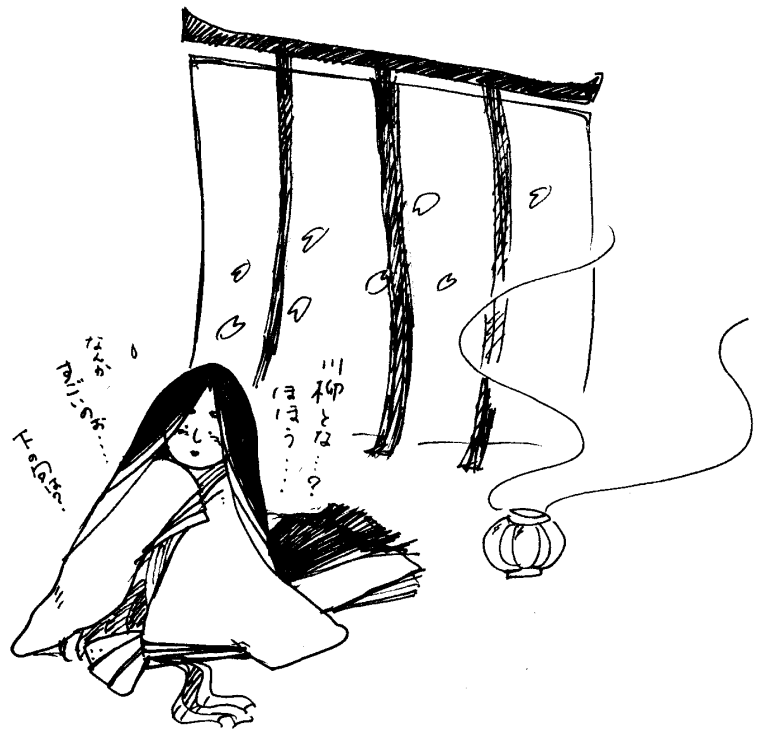
眼下には すがしき瀬かな 錦川  
 憂うつな 僕の心は ダイオキシン  
 煌らかな 夜空の光 大自然  
 台所 みしらぬことろの おとし穴  
 ヘドロの海 みんなできれいに して行こう  
 山のぼり 小さな発見 大きな感動  
 いつまでも 緑に囲まれ 心豊かに  
 ・CO<sub>2</sub> 削減めざして 会議中  
 排気ガス どんどん出して 温暖化  
 川の中 石と思えば さびた缶  
 温暖化 科学の進歩の 代償か  
 環境を 壊した結果が エルニーニョ  
 酸性雨 山がはげろぞ 頭もだ  
 海に住む 魚のえさは レジンペレット  
 増やそうよ 自然を守る エコロジー  
 始めよう 地球のために リサイクル  
 はばたこう 地球を守る 第一歩



### <エコ川柳スタッフの部>

・ここはどこ? 早瀬にカヌー 飛んでいる  
 ・あら痛い 頭に直撃 ドングリだ  
 温暖化 ムダな抵抗 造雪機

・ゴミ山に 群れなすカラス 悪しからず  
 奢る国 ダイオキシンの 忍びよる  
 波まかせ レジンペレット たどる浜  
 ・シンボルの 鹿もてあます 神の島  
 ・ノーサンキュ 空よ海よ エルニーニョ  
 温効ガス 削減オナラも入れて お父ちゃん  
 ・どっち先 温暖防止と 我禁煙  
 ・エコオフィス 検討のため ゴミを出す  
 ・ああ東京 高層ビルの 山水画  
 森の中 ひっかき傷が 十八本  
 夢の名の ためなら集う 空ボトル  
 ・イワシ好き ダイオキシンを ひとりじめ  
 ・ポスト受 主より重ーい チラシ束  
 ・京都会議 限定セールの CO<sub>2</sub>  
 農地ヒマ 薬漬けの飯 船団で  
 ・頂上や この空、海も おれのもの  
 ・スモッグや 独歩は知らで 臥龍淵  
 河霧や 独歩は知らず スモッグを  
 ・なんでじゃろ 誰が得する？ 自然保護  
 ・なんでやねん 誰が得する？ 自然破壊  
 ・耳すましゃ 心に響く 木の鼓動  
 ・京都から やる気発信 あの気を減らせ



エコピング大会は、当初スタッフの間では盛り上がり懸念されたが、先行終了者には賞品が出たこともあり、大いに盛り上がった。  
 エコクイズは、身近なゴミ問題を中心に、環境問題全般に関する問題が出された。

エコトークリレーでは、これまでこの講座の企画・運営に携わってきたスタッフ一人一人が、今  
 感じている高校生講座や環境問題に対する思いを、リレー形式でざくばらんに話した。スタッフ  
 それぞれが、各々の言葉で語ったが、それぞれの発表に共通する思い・願いなどを受講生たちは感じてくれただろうか？



本まとめでは、スタッフ全員について、当日に話したエコトークリレーの内容と、これをふまえてさらに内容を付け加えたものを作成し  
 てもらった。

エコトークリレーの後、代表の竹本さんによる閉講のあいさつで本講座の全てのプログラムは終了。解散となった。

### < 受講生の感想 >

正直言うと結構軽い気持ちでいたんだけど深刻化している環境問題について私たちが行動をおこさないといけないなとつくづく思  
 いました。

今回は、学校行事と重なり、あまり出席出来なかったのですが、なんかスタッフの方々には、お世話になって、うーん。ありがとうございました  
 いました。

初めて体験したカヌーには、本当に感動しました。ほぼ水面の近くの視界には、水の音のせいか、心が無くなって、本来あるべき形  
 態がとても大切に思え、守っていかないといけないと、つくづく思いました。世界の人に良心があるのなら、少しでも地球の緑が保てる  
 のなら、私の出来ることを探し、活動していきたいです。今回もありがとうございました。

夏に宇宙船地球号の会の講座に参加したとき、【広島市青少年センター主催事業で宇宙船地球号のメンバーが協力した講座のこと】キャンプや講義で、私たちのすぐ身近で環境破壊が進んでいることに気づかされました。松枯れ調査をしたときには、あの似島のあの山がひどいだけだろうと思っていたけど、通学するときに電車の窓から見える山にもあるのを見て、とても驚き、悲しくなりました。こういうことは普段生活しているだけでは、私だっずっと知らないままにいただろうと思います。そして、今回の講座は私の都合で錦川キャンプに、しかも途中から参加しただけだったのですが、我が町、岩国市を流れる錦川がこんなにきれいだったんだと感動しました。初めて乗ったカヌーはとても気持ちよくて、ずっとそうしていたい気分でした。まわりにも山があって景色もよく、ずっとこの川と周辺がこのまま残っていけばいいなあと思いました。

地球温暖化防止京都会議などもあり、最近では環境問題について考えることが多くなりました。考えてみると私たちの生活は無駄が多いと思います。私たちの生活は便利になりすぎてしまってなんだか原点に戻って考えることをしないとどんどんひどくなってしまふんだとつくづく感じました。こういう便利な生活が出来るのも、人間が住める地球という環境があったおかげなんだから、もっと感謝して地球のことを大切に思わなければならないと思います。国際的な会議で二酸化炭素が何パーセントとか言っているけれど、みんなが、がんばらなくては地球は救えないと思うので、一人一人が省エネ生活を実行する必要があると思いました。

ほとんど出席していないのだが、出席した回は、多かれ少なかれなにかしらの感銘を受けさせてもらった。こんなに違う学校や立場の人と話す機会はそうないし、そういう意味でも、たくさんの人と話が出来て、話が聞けてとてもおもしろかったし、勉強になった。本当にありがとうございました。

私はこの講座にでてよかったと思います。最初は正直に言えば「めんどくさいなあ」と思っていました。私はひまだったのでこの講座に参加しました。でも終わってから思うと、新しく友達と呼べる人もできたり、学校での友達よりも思うことをいえたと思います。そういったこともあって今まで参加していました。でも二葉山に行ったときは、本当に感動してしまいました。木の音【樹液のあがる音】が聞いたのがなんか心にじーんとして、自分でもよくわかんないけど、それで山が好きになっちゃいました。単純ですが木にも命があって、生きていて私たちと同じ時代を一緒に過ごしているのが、なんだかとても幸せを感じてしまいました。

前に参加して楽しかったので、今回も参加してみました。講義だけではなく、キャンプや二葉山のフィールドワークでは、自分で自然に接してみて広島にもこんなに美しい川や山が残っているのだなと実感できました。ゴミ調査では、海岸にいったいどれくらいのゴミがあるか拾ってみて改めてその多さに驚かされました。そしてそのゴミがどこからきているのか、どんなゴミの割合が多いかをみんなで話し合ってみていると知ることが出来ました。

また環境のことだけではなく、参加している人たちともいろいろな話が出来たりしたのでとても楽しかったです。この講座に参加したのは、まだ2回目ですが友人が出来たのは、とてもうれしかったです。自分自身そこまで環境には関心がなかったのですが、周りの人たちと一緒に学んでいくうちにいろいろな体験が出来ました。出来れば、また参加してみたいと思います。

キャンプがすごく楽しかった。特にカヌー。私はマキちゃんと二人で乗って、後ろに乗った時に方向を変えることが出来たのはうれしかった。だけど最後のあたりでカヌーを運んだのは重かった。

時間がないので少ししか書けませんが、これに参加してよかったと思います。いろいろな人に会えたし、いい思い出もたくさんできました。どうもありがとうございました。

この講座に参加して、ダイオキシンとか身近なことなんだけれどあんまり知らない事とかあって、すごく勉強になったし、キャンプに行くと、自分たちでご飯を作ったり、夜みんなで遊んだりして楽しかった。

宮島のビーチクリーンアップでは、発泡スチロールやレジンペレットとかがいっぱいあって、しかもビーチは素足で歩くことが多いのにガラスの破片もあって安心して素足では歩けないと思った。二葉山のドン君に会いたかった。来年もこの講座があったら今年ほど参加できないと思うけれど、出来るだけたくさん参加したいです。

最初は、自分の心の中の大半が友達が行くからなどというもので自分をこの講座に参加させていた。何度か講師の方が来られているいろいろなお話をしてくれたが多少は興味があったもののあまり本気で聞いていたとは感じていなかった。(当然自分が知っていたこともあってとても珍しい訳でもなかったからで)でも実際にビーチクリーンアップ in 宮島に参加し実体験をすることにより、心ではなく体がまず環境、自然の大切さをひしひしと感じ、キャンプ、フィールドワークを通じて徐々に閉ざされていた心も開かれて本当に環境自然の大切さを理解できるようになってきた。(少しではあるが)

というように講座を通して僕自身の環境や自然に対する価値観を心の奥底からも変えられることが出来たことが僕にとっての一番の利